

令和3年度 学校経営計画書

学校名	倉敷市立工業高等学校
校長氏名	谷口和士

○本校のミッション（使命、存在意義）

- 1 夜間定時制工業高校の特色を生かし、次代を担う工業人の育成に寄与する学校。
- 2 社会と結びつきを通して、成長する生徒の自己実現を支援する学校。
- 3 地域と連携し、地域に貢献・信頼される、開かれた学校。

○ミッションの追求を通じて実現しようとする本校の学校経営ビジョン（将来像、目指す姿）

1 生徒にとって

- (1) 工業に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、実践力を有する生徒を育成する学校。
- (2) 「学びやすく、安心・安全」な学校。
- (3) 「働きかつ学ぶ」というライフスタイルを確立し、生き生きと登校できる学校。
- (4) 自主的活動を通じて、心身ともに健全に成長できる学校。

2 地域、保護者、教職員にとって

- (1) 学校経営計画を理解・共有し、連携・協働を通じて、その実現を目指す学校。
- (2) 情報発信に努め、地域・保護者との連携・協力を通じて信頼される学校。

○当該年度の具体的な学校経営目標・計画

1 生徒理解をすべての教育活動の根幹とする。（生徒理解）

- (1) 生徒の未来シートや生徒連絡会の充実
- (2) GSuiteクラスルーム等を活用した支援体制の充実
- (3) SC・SSWと連携した多様な生徒への支援の充実

2 主体的に学ぶ喜びを体感させる。（授業）

- (1) 市工版学習スタンダードの活用やものづくり教育の充実
- (2) ICTを活用した授業実践の充実
- (3) 教科横断的な連携による基礎学力や実践力の充実、全教員を対象とした公開授業の実施
- (4) 自己評価やルーブリックを活用したパフォーマンス評価研究の推進

3 自己肯定感を持たせる。（自主）

- (1) 生徒会活動、クラス活動、委員会活動、部活動など自主的活動の推進
- (2) 地域連携、社会貢献活動の実践
- (3) 生徒の活躍を積極的に情報発信するなど広報活動の充実

4 将来の自分の姿を描かせる。（進路）

- (1) キャリアパスポートの有効活用と系統的なキャリア教育の実践
- (2) 就労支援による「働きかつ学ぶ」という生活スタイル確立の実践
- (3) 各種検定の取得に向けた取組の実践
- (4) 地元企業見学や出前事業など体験的な学習をとおした進路指導の充実